

会議の概要

平成30年度 第1回 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼 ○ 大山幼稚園学校運営協議会 ○ 玉井幼稚園学校運営協議会
○ 大山小学校学校運営協議会 ○ 玉井小学校学校運営協議会
○ 大玉中学校学校運営協議会

日時 平成30年5月16日（水）18:30～20:30

場所 改善センター2階 農事研修室

本日の予定

予定時刻		
18:30	1 開会の言葉	(1)
	2 委員任命、委嘱状交付	(2)
	3 教育長あいさつ	(5)
	4 会長あいさつ	(5)
	5 自己紹介	(6)
	6 本日の日程・内容等について	(1)
18:50	7 協議	
	(1) H30おおたま学園CS委員会の方針・年間活動計画	(15)
	(2) 各園・各校が今年度重点的に取り組むこと、お願いしたいこと	(15)
	(3) 村民スポーツ・フェスタについて	(50)
	＊ 事務局より説明、質疑応答	(10)
	＊ 小グループによる熟議	(30)
	＊ 全体で共有	(10)
20:10	8 連絡事項	
	(1) 地域学校協働本部事業（地域学校協働活動）について	(15)
	(2) その他	
20:30	9 閉会の言葉	

(進行…事務局)

1 開会の言葉 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 後藤みづほ

2 委員の任命・委嘱状の交付 大玉村教育委員会教育長 佐藤 吉郎

・新たに任命された委員受領 (渡辺 久和様 吉田 都様)

・学校関係者委員委嘱状受領 (渡辺 久和様 吉田 都様)

※「おおたま学園コミュニティ・スクール委員名簿」参照

3 教育長あいさつ

大玉村教育委員会教育長 佐藤 吉郎

・今任命書を渡した2名の方をお迎えし新しいコミュニティ・スクールがスタートした。

平成16年にコミュニティ・スクールが国の制度として立ち上がり、大玉村が平成23年に導入して今回が2期目の4年目、まとめの年になる。この間コミュニティ・スクール委員さんには大玉の教育に対して知恵と汗と力をいただき感謝申し上げます。

・いろいろなデータを見ると、子どもたちが確実に育っている。地域が活性化している事がわかる。その一つに大玉村の人口が増えている。14歳以下の子どもの数も増えている。人口の増加は自治体の活力のバロメーターになっているといえる。村長がいつも言っているが人口増の要因は一つだけではない。定住化政策が功を奏したのは言うまでもなく、いろいろな面で大玉の魅力を感じている人が増えたと思う。「もう一つの要因が、大玉の教育」と言えるようにになりたいと思っている。

・コミュニティ・スクール委員の皆様をはじめいろいろな方々にお力をいただきながら教育の在り方について新しいことを取り入れていただいた。今年は3年保育がスタートして12年間の一貫的教育をスタートできた。昨年度の教育フォーラムで高校生の高橋君が「自分が育った村に貢献したい」と発表してくれたこと、中学校の卒業式の答辞で「本当に多くの地域の人たちに感謝申し上げます」と聞いて感動し、子どもたちが確実に育っているとうれしく思った。

・現在、社会教育のボランティアを募集している。中学校を卒業した高校生・専門学校生に声をかけているが、今日名簿をみたら中学校を3月に卒業したばかりの子どもたちが9名いた。9名も集まるのは初めてのこと。これも人と人が関わっていくという大玉の教育活動の成果だと思っている。

・「地域と共に歩む学校」ということでやっているが、学校を核とした地域づくり、これがコミュニティ・スクールの目指すところだろうと思っている。コミュニティ・スクールとは方法

・手段であるが、確実に前進していることについて御礼申し上げます。

(資料 コミュニティ・スクールについて)

・今年度の文部科学省の重点取り組みについて。以前教育の内容が変わったと話したが、その中心になる言葉は、「社会に開かれた教育課程」。「教育は学校の中だけではなく、地域・保護者と一緒にビジョンを共有しながら教育を進めていくということが大きな柱となっている。

・昨年まで事業を実施してきてさまざまな課題や改善点があるということでしたので、2回役員会を開いた。その中で新たな提案等々いただいたので、このあと関連な意見等をいただいて大玉の教育をさらに充実したものにしていきたい。



4 コミュニティ・スクール委員会 会長あいさつ

会長 伊藤 和弥

今年は去年からの継続で2年目となり、引き続き皆様にはよろしくお願い申し上げます。また今回、渡辺さん・吉田さんに新しく委員になっていただき、ご協力をいただきたいと思います。

今回役員会で、CS 委員会をさらに活性化させるために、（委員会での）協議の内容に関してもう少し皆さんが意見を出せるような方法はないものかと考え、小グループに分けて熟議を行うことを提案させていただきました。CS 委員会が活発に活動することで、子どもたちが健やかに成長する、村民の方が教育に関して関心を持ち、皆さんで村をよくしたい気持ちがますます出てくるのではないかと思います。皆さんそれぞれ地域住民の代表として集まっていますのでいろいろな意見をお持ちだと思ふ。皆様に積極的に意見をだしていただきながら、委員会を進めていきたい。今後ともよろしくお願い致します。

5 自己紹介

※「おおたま学園コミュニティ・スクール委員名簿」参照 名簿順に

6 本日の日程、内容、進め方及び諸連絡について（事務局）

○ 申し合わせ事項

- ・ CS 役員会への参加「会長、副会長、代表校長1名」
 - ・ CS 委員会への参加…学校代表 CS 委員1名は校長。（校長代理として意図的に教頭参加の機会をつくる。）
 - ・ 学校で開催する CS 委員会には 学校園運営状況の説明が十分できる体制で臨む。
- ※ 教職員紹介も行う。

○ CS 委員報償について

- ・ 規程に沿って、参加 CS 委員（学校委員以外）に
- ・ 今年度新たに加わった委員の方々は「債権者登録」「通帳コピー」の提出をお願いします。

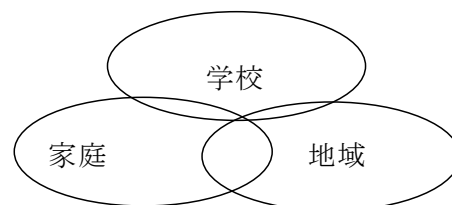
7 協議 （座長 CS 副会長 矢吹吉信）

（1）平成30年度おおたま学園コミュニティ・スクール委員会の方針・年間活動計画

① 理念についての再確認

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともに歩む学校づくり」を進める仕組みです。

- 学校としてできること……
- 保護者としてできること……
- 地域としてできること……
- CS 委員会としてできること……



学校運営協議会の権限（責任）

学校運営協議会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づいて設置されます。この法律には次のようなことに定められています。

- 指定された学校の校長は、教育課程の編成などについての学校運営の基本的な方針を作成し、学校運営協議会の承認を得なければなりません。
- 学校運営協議会は、学校運営について、教育委員会や校長に対して、意見を述べることができます。
- 学校運営協議会は、学校の教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるすることができます。

② 平成30年度の重点について

※ 平成30年度は「地域学校協働本部事業（地域学校協働活動）」との関連を明らかにしながら、以下の項目を重点とする。

- オープンスクール（おおたま学園主催の授業研究会）に、CS委員の皆様に参加いただき、各校園の学校運営協議会をその当日夕方に行う。このことにより、子ども理解・学校理解のより一層の深まりとともに、それらに基づいた協議の活性化を目指す。
- 学校関係者評価機能をCS委員会に組み入れ、学校経営・運営の改善のサイクルが有効に機能するようにする。
- 第10回目となる教育フォーラムは、保護者、村民の方々が年に1回集い、教育・子育てについて語り合う場として実施する。役員会が概要を企画し、内容・方法については、CS委員会において協議する。限られた時間で協議が深まるよう運営方法を工夫する。
保護者、村民ができるだけ多く参加できるよう、呼びかけ・周知を図る。
- 実行委員会が中心となり企画・運営する村民スポーツ・フェスタに参画し、ねらいの達成に寄与する。
- 学校運営協議会では、話し合う内容によって全体会と小グループを使い分け、熟議がしやすい雰囲気や場の設定を心がける。

③ 平成30年度おおたま学園コミュニティ・スクール委員会活動計画（案）

月	日	会議・主な活動
4	18	第1回役員会 ・第1回CS委員会運営・内容等検討
5	16	第1回CS委員会 ・委員任命 ・学校関係者評価委嘱 ・年間計画（CS委員会運営・内容等） ・各校・園から ・村民スポーツ・フェスタについて ・地域学校協働本部事業（地域学校協働活動）について
6	26	第2回CS委員会（大山幼稚園・小学校運営協議会） ※オープンスクール実施
7		第3回CS委員会 ・小グループによる熟議～地域学校協働本部事業（地域学校協働活動）を中心に～
9	7	第4回CS委員会（大玉中学校運営協議会） ※オープンスクール実施

9	9	村民スポーツ・フェスタ（小・中）運営・参画 ※予備日：16日（日）
9		第2回役員会
10		第5回CS委員会 ・小グループによる熟議～教育フォーラムを中心に～
10	11 12	全国コミュニティ・スクール連絡協議会総会 同 研究大会（北海道 三笠市） ※予定
10	25	第6回CS委員会（玉井幼稚園・小学校運営協議会） ※オープンスクール実施
11		第7回CS委員会 ・講師を招聘しての研修～学校関係者評価を中心に～
12		第8回CS委員会 ・小グループによる熟議～H31 おおたま・オータム・フェスタを中心に～
1月中		※学校関係者評価実施 各校園委嘱の学校関係者評価委員が行う。各校園毎に日時設定
1		第10回教育フォーラム（予定）
2		第9回CS委員会 ・フォーラム反省 ・学校関係者評価報告 ・学校運営方針→承認 ・H30反省 ・H31計画

※ 6、9、10月実施の各校園主体の学校運営協議会は、オープンスクール（5校時の授業参観）と一緒にを行う。そのため、午後から夕方にかけて開催する。（授業参観－事後研究会－学校運営協議会の午後半日の予定）

※ 役員会は厳選して実施する。（計画は2回 ※4月と9月）

※ 希望者あるいは代表者の研修の機会を位置付ける。

（2）各園・各校から（今年度重点的に取り組むこと、お願いしたいこと、その他）

① 大山幼稚園

・平成30年度3年保育が始まった。3歳児が35名、4歳児39名、5歳児39名でスタートしたが、途中入園年長1名あり、114名になった。預かり保育は3歳児21名、4歳児24名、5歳児22名、計67名利用となっており、園児の半数以上が利用となっている。

・教育目標に向かい保育をスタートさせている。「主体的に活動できる環境づくり」に合わせた支援を進めている。特に3歳児は担任と補助職員の二人体制、支援員も入っていて園に慣れるまで丁寧に関わることができた。はじめは泣いていた園児も今では笑顔で登園し遊ぶことができています。排泄の自立も保護者と話し合いながらすすめているところである。

・身近な人と関わる力の育成については、地域の方とふれあう「ふれあいデー」を年に3

回開催したいと考えている。本日 1 回目「ずんね会・スポーツ民謡会」に声かけをして、一緒に野菜の苗植え・砂遊び・お手玉遊びをした。また、新しい園舎を見学いただき「3 歳児と 5 歳児では違うんだない」「子どもの発想には驚かされた」などの感想をいただいた。3 年保育となり職員も増えたので日々カンファレンスを行い、保護者との連携を取って共通理解を図っていききたい。是非 CS の皆様にも幼稚園にきていただきたい。

② 玉井幼稚園

・3 年保育スタート。3 歳児 47 名、4 歳児 47 名、5 歳児 52 名の 146 名でスタートしている。預かり保育も 91 名利用で通常は預かり保育室を利用していたが、人数が多いので、学年に分け、保育室を預かり保育室と兼用している。3 歳児から 5 歳児は発達段階が違うので様子を見ながら 3 歳児も参加できるものを考えながら預かり保育を行っている。

・親子遠足は 4 歳児、5 歳児は 5 月に実施、3 歳児については 9 月にフォレストパークに行く予定。

・オムツがとれていない 3 歳児が各クラスに 10 名程度いる。特に家庭からこられた 3 歳児が多い。声かけして成功体験をさせてあげたいが、人数も多くなかなかそこまでいっていない状況。今後保護者との連携を取りながら進めていきたい。

・平成 30 年度の運営について「みんな元気、玉っ子自己マネジメント力の育成」というビジョンを作成。子ども自身が考えたり決めたりする活動を行っていけるよう支援していきたい。

・教育目標の「・自ら考える子ども・心豊かな子ども・たくましい子ども」は友達、先生、地域の方といろいろな関わりを通して育っていくものがあると思っている。園では年齢、時期にあった支援をしていきたい。

・家庭との協力として基本的な生活習慣を身につけさせたい。昨年直売所の矢吹さんからご紹介いただき、地域の方の畑で収穫体験をさせていただいて、よい経験になった。園は今まで受け身であったが、これからは園から出て行つての活動を考えていきたい。待っているだけでなく、お願いをして園から出て収穫体験を農家の方とできたらと考えている。幼稚園で作った野菜を直売所に持ち込んで販売という構想もあるので、良い案があれば幼稚園にお願いしたい。

③ 大山小学校

・今年度は「夢に向かって頑張る子」という教育目標の基に、おおたま学園、大山幼稚園、地域の皆様と連携、連動し合いながら進めていきたい。昨年度まで、授業改善、家庭学習の定着、心の面ではあいさつ、親切を通した心の育成、頑張り抜く子どもを掲げて努力してきた。これを土台とした改善、工夫をしていきたい。

・32 年度から学習指導要領が新しくなる。今年、来年は移行期間。完全移行になるまで、指導要領の趣旨をいかしてとりくんでいきたい。高学年の英語や道徳が教科化となるなど、変化があり新しくなったことを研究して推進していきたい。

・CS との関わりとしては、学校関係者評価が大きい。行事や活動をもっと見てもらえるように機会を増やしていきたいと思っている。案内を出すので、気兼ねなくきていただいて気付いたこと等や何か提案などいただき、地域に学校の様子など広めていただければと思う。

④ 玉井小学校

・今年一月に今年の漢字を募集したところ「挑」という漢字だった。保護者の皆様も学校で何か目標にむかって挑ませたいという思いが強いということ踏まえて教育課程を編成した。子どもたちが自分で決めて、自分で挑戦して多くの成果、課題を得てさらにステップアップ出来るようにするというのを教育の場で設定してあげることが必要だと思い、

「みんな元気、玉っ子自己マネジメント力の育成」とテーマを決め、取り組んでいる。マネジメント力とは自分を知り、自分で目標を立て、計画をし、実際にやってみて、振り返って、これまでのことを見直す、また新しい目標に向かっていく、ということ。

・お願いしたいことだが、車を停めるときは、学校の指定したとおりにお願いしたい。一番は子どもの安全。そのために人員が必要な時はよろしくお願いしたい。

⑤ 大玉中学校

・今年度重点的に取り組むこと、「考える習慣を身につけ主体的に学習に取り組む生徒」「思いやりをもって協働し強い意志でやり抜く生徒」「健康安全に心がけて活力ある生活を送ることができる生徒」の3つを目標に掲げている。学習指導要領の改訂に伴い、身につける必要がある資質を把握した上で、問題発見・解決能力を育てるところをいれていきたい。

・「社会に開かれた教育課程」を実現するために「学校・地域・家庭が相互補完的に連携」を重点的に取り組んでいきたい。具体的に3つある。

・一つ目はキャリア教育の充実。本校は総合的な学習の時間に力を入れている。1年生はふるさとを知る。2年生はふるさとに学ぶ。これに比べ3年生のふるさとに貢献するが弱いと考えていたので、今年は村のPRビデオやPRマップなどを作成してみたいと考えている。そのときは、地域の皆様のお力をお借りしたい。

・二つ目は道德教育の充実を図っていきたい。本来中学校は来年度から道德の教科化だが、本校は先行実施とした。道德のゲストティーチャーとして保護者の方、地域の方をお願いしたいと考えている。

・三つ目は、中学校は部活動指導を重要視している。生徒指導面、社会性、人間性の育成で部活動は非常に重要である。本校は昨年度から部活動指導員制度を活用しているが、今後さらに推進していきたいと考えている。さまざまな部活動があるので、ぜひ指導できる方は中学校までお願いします。

(3) 村民スポーツ・フェスタについて（資料参照）

○ 事務局より説明

質疑応答

(委員) 昨年の名倉山登山のイメージがわからない。

(事務局) 親子で参加。班ごとで行動のイメージ

(委員) 幼稚園4,5歳児と3歳児がいる場合どちらに親がいけばよいのか

(委員) 3歳児は通常保育のほうが良いのではないか

(委員) 兄弟の関係もあるので、3歳児は通常保育がいいと思う。

(事務局) 最終的には実行委員会に提案して決めていただくようになる。

(委員) どの部分を熟議してほしいのか

(事務局) オリエンテーリングは変わらない。

(委員) どのようにしたらよいかというアイデアがほしいのか。

(委員) 村民スポーツ・フェスタとおおたまオータム・フェスタとの目的をどうするのか。どう融合させるか

(事務局) そういったことについてもいろいろご提案いただきたい。

○ 小グループによる熟議

6班に分かれて小グループに分かれて熟議がなされた。それぞれ委員から、疑問や意見が出された。

○ 全体で共有

各班で意見を発表してもらった。各班の意見は下記の通り。

- 1 班 ・参加は家族単位や友達での参加などにしては良いのではないかな。
 - ・学校行事化しているのではないかな。
 - ・ネーミングについても考えてはどうか。
- 2 班 ウォーキングについて
 - ・十楽院など名所にポイントを設定し、地域の方が説明をしたりするのはどうか。
 - ・地域のひととのふれあいになるのではないかな。
 - ・トイレはどうするのか
 - ・一般住民をどう参加させるのか
 - ・幼稚園 3 歳児は、ご年配の方に抱っこしていただくのはいかがかな。
 - ・開催の目的を、スポーツ・フェスタとオータム・フェスタの融合させた方がいいのではないかな。
- 3 班 安全面について話し合った。
 - ・体育館に両幼稚園の 4、5 歳児、保護者、関係者が入りきれるのか。
 - ・まだまだ暑い。暑さ対策はどうするのか。
 - ・ウォーキングコースの安全面は確保できるのか。
 - ・時期的に鍋はどうなのか。
 - ・鍋の具材はこの時期あまりない。
 - ・食中毒が心配。
- 4 班 ・オリエンテーリングは保護者も参加した方がよいのではないかな。中学生と小学生の部に保護者をいれるのはどうか。
 - ・CS は係として参加するのか。CS の関わり方がわからない。
 - ・ウォーキングは小学 1 年生から 3 年生まで同じコース・距離なのか。
 - ・一斉スタートなのか。
 - ・ウォーキング中に体調不良や、何か事故があったときの連絡方法はどうか。
 - ・全体像がつかめていないというのが現状。

8 連絡事項

(1) 地域学校協働本部事業（地域学校協働活動）について（資料参照）

1, 地域学校協働活動の目的

2, 本年度の実践の方向性

特に、大人も共に学び合う、学びの還元と循環を進めていく。

3, 地域学校協働活動事業内容

(1) 学校支援型・地域連携型活動

- ・組織的で安定的に活動を継続できるような仕組みを整え、総合的な視点による活動を推進する。

- ・教育課程外では、「おおたま夏まつり」も今後関係していくところであると思う。

- ・公民館事業との連携では、小学校での開催も行う予定

(2) 放課後活動「放課後子ども教室」

- ・今週 18 日に開校式がある。

(3) 土曜日・長期休業中の学習支援活動

- ・「共に学ぶ『おおたま未来塾』」（小 5・6、中 3）

- ・中学校 3 年生については決定しているが、小学校 5・6 年についてはまだ検討の段階。

(4) 家庭教育支援活動

- ・教育フォーラムを CS と共催での開催とする。

(5) 研究・広報活動

- ・PR 活動も力をいれていきたい。

4, 年間活動計画

- ・年間の計画となっているが、今の段階では予定である。
- ・夏休みには「水泳指導」や「おおたま未来塾」「中 3 未来塾」などいろいろな予定が入っている。
- ・ボランティア研修会を 9 月・2 月の 2 回予定している。

5, 地域学校協働本部

- ・地域教育協議会は協働本部において、協働活動事業の推進していく組織
- ・推進員協議会は月に 1 回実施する。情報交換・事業等に関して協議を行う会で、必要に応じて各小学校の地域連携係にも出席をお願いする。

最後に「地域と共に歩む学校」の実現のために地域学校協働活動とコミュニティ・スクールが互いに連携・協働していくというイメージで作ってあるのでご覧ください。

質疑応答

(委員) 今年度の放課後子ども教室の参加人数を教えてください。

(事務局) 玉井小学校は 41 名、大山小学校 19 名での活動となっている。

(2) その他

(事務局より)

ニュース等でご存じかと思うが、新潟で女の子の命が奪われるというショッキングな事件が発生している。昨日県内、梁川で強盗事件が発生しており未だ犯人は逃走中である。本日、昨日の下校は皆様の協力を得ながら、安全に登下校している。皆様におかれましては実際登下校時街頭にたっただいていらっしゃる方もいらっしゃると思うが、子どもたちの安心、安全のためにご自身のお立場でご協力をお願いしたい。

9 閉会の言葉

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 武田 伸一

〈次回の予定〉

- 大山小学校オープンスクール 6 月 26 日 (火) 13:25～
- 第 2 回コミュニティ・スクール委員会 (大山幼・小) 6 月 26 日 (火) 16:10～